

# 緊急連絡カード

火事・救急・救助

# 119番

携帯電話からでも119番

住所

氏名

(世帯主)

近くの  
目標物



## 家族等への連絡先

氏名	電話・携帯電話	続柄



## かかりつけ病院（医院）等



病院名	電話・携帯電話	備考



## 社会福祉施設、民生委員等

氏名	電話・携帯電話	備考

病歴

◎火事・救急・救助は、早い通報が大切です。

**火災の案内** ☎ 0765-22-9999

**住宅用火災警報器を設置しましょう。**

富山県東部消防組合消防本部 通信指令課  
電話 0765-24-7977

### 【緊急連絡カード】

いつ起こるか分からない病気やケガ等に備え、このカードを記入し、電話のそばにおいてください。

緊急時に、頭で考えながら話すことは非常に難しいことです。いつもなら、すぐに思い出せる住所や電話番号でさえ、思い出せなくなることもあります。書いてあることを読むだけで必要な情報を伝えることができます。

### 【消防への通報】

○119番につながると「火災ですか?」「救急ですか?」と聞かれます。救急の場合ははっきりと、「救急です。」と答え、住所を伝える際は、必ず市町村名から伝えてください。

後は、通信指令員の問いかけに落ち着いて答えていけばいいのです。

### 【携帯電話からでも】

携帯電話からの通報では、住所や場所を伝えるときは、「〇〇市××町から通報しています。」と一言お願いいたします。

住所などが分からない場合には近くの目標物などを伝えてください。

○電話番号は、局番なしの「119」でOK!

携帯の場合は、自分からは絶対に切らないようにします。自分の居場所をきちんと伝えてください。

また携帯電話の場合、電波の受信場所によって、違う管轄の消防本部につながることもあります。

管轄する消防本部へ転送しますので、途中で自分から電話は切らないようにしてください。

○自動車を運転中に事故や火災に遭遇し、「119」番通報をおこなう場合には、次の点に注意してください。

・車両を安全な場所に停車させ通報する。(事故防止及び電話が切れるのを防ぐためです。)

・事故現場が危険な状況である場合(交通量が多い、炎が見える等)安全な距離を保つ

・通報後、なるべくその場を離れない(消防隊や救急隊にわかっている状況を説明する。)

### 【家からの電話の場合】

○家からの通報の電話は、子機からの方が良いことがあります。子機ならば、現場を見ながら、通話をすることができます。通報があるとすぐに、救急隊は出動して現場へ向かいます。通話を続けることで、状況に応じて通信指令員から心肺蘇生法や止血法等の口頭指導を受け、応急処置を施すことができます。

○「119」番への通報は、緊急性のある場合以外は控えてください。「119」番の回線数には限りがあるので、他からの緊急の通報が受信できなくなってしまう。

○病院の問い合わせや各種相談などは、管轄の消防署にお願いします。また、火災等に対する問い合わせは、テレホンガイド(0765-22-9999)にお願いします。

